

≪ 今日の主なニュース ≫

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆出生数2.8%減の52.5万人 1~9月、「令和7年7月7日」で結婚は微増

・厚生労働省が発表した人口動態統計によると、1~9月の出生数(外国人を含む速報値)は52万5064人で、前年同期比2.8%減った。比較可能な2005年以降で最も少なかった。少子化に歯止めがかからず、通年の出生数も過去最少となる公算が大きい。1~9月の婚姻数は前年同期比0.4%増の36万7716組だった。

◆消費者物価指数、10月3.0%上昇 2カ月連続で伸び拡大

・総務省が発表した10月の消費者物価指数(CPI、2020年=100)は変動の大きい生鮮食品を除く総合が112.1となり、前年同月と比べて3.0%上昇。2カ月連続で上昇率が拡大。伸び率が3%台になったのは7月以来3カ月ぶり。生鮮食品を除く総合指数の上昇は50カ月連続。QUICKが事前にまとめた市場予測の中央値は3.0%の上昇だった。

◆ウナギさらに高騰の恐れ EUが規制強化を主張

・野生動植物の過剰な国際取引を規制するワシントン条約の締約国会議がウズベキスタンで開催。欧州連合(EU)などが食用のニホンウナギを含むウナギ全種を国際取引の規制対象にすべきだと提案している。日本政府は反対の立場をとっているが、採択されれば輸出が許可制となり日本国内の価格が上昇する可能性がある。

≪ 業界ニュース ≫

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆電気・ガス料金補助、3カ月で約7000円の負担減 26年1~2月に重点

・経済産業省は一般家庭の電気・ガス料金を2026年1~3月の3カ月間に7000円程度支援すると発表。寒さが厳しくなり電気やガスの使用量が増える1~2月は月3000円強を補助。25年度補正予算案に反映。1~2月に電気料金は使用量1キロワット時あたり4.5円、ガスは1立方メートルあたり18円を支援する。3月は電気1.5円、ガス6円とする。

◆カインズ、住設販売の交換できるくんへ出資 リフォーム事業拡大

・カインズは住宅設備販売を手掛ける交換できるくんと資本業務提携すると発表。交換できるくんへ2億3970万円の出資をする。リフォーム需要が高まるなか、住宅設備の交換事業で連携するほか、リフォームの見積もりなどをオンラインでできるサービスをカインズで展開。交換できるくんは1998年に栗原将社長が水道修理業で創業、事業を拡大。

◆10月展示場来場者、北海道・東海・近畿で2ケタ減

・住宅展示場協議会と住宅生産振興財団は2025年10月の住宅展示場来場者数を発表。来場者組数は前年同月比12.5%減の19万9096組で、2カ月連続の減少。2025年度累計(4~10月)は同6.6%減の147万9724組で、減少幅がさらに拡大している。地域別では、東北エリアが唯一増加し、0.7%増と微増ながら今期初のプラスとなった。

≪ 注目商品 ≫

■ダイキン、遠くの足元まで直接温風を届ける床置形エアコン

・足元に沿わせた温風をより遠くまで届ける「床置形ハウジングエアコン」を発売。「足元暖房気流」を新搭載。床に沿って吹き出す温風が一般的な石油ファンヒーターと比べ最大約1.6倍の距離まで到達し、暖房が効きにくい吹き抜け空間でも足元をしっかりと暖める。



■パナソニック、奥行44cm・薄型モデルの「おひさまエコキュート」

・昼間沸上げ形の自然冷媒(CO2)ヒートポンプ給湯機「おひさまエコキュート」の薄型モデル・YWシリーズを発売。貯湯ユニットの奥行が44cmとコンパクトなため、前面吹き出し距離20cmを確保して、約60cmの有効スペースがあれば設置可能。



■HiKOKI、軽量・高効率なコードレス連結ねじドライバ

・電動工具ブランド・HiKOKI(ハイコーキ)から「コードレス連結ねじドライバ(WF1804DA)」を発売。石こうボード張りに特化した電動工具で、ロール連結ねじに対応したコードレス仕様。質量2.1kgと軽量で重心が手に近いため、手首の疲労を軽減できる。

